

製品名	塩化水素	国連番号	1050
化学名	塩化水素	SAMPLE	

該当法法規対応・危険有害性													
消 防 法						毒物及び劇物取締法			高圧ガス保安法		道路法		
類 別						指定可燃物	品 名 (法別表)	毒 物	劇 物	特定毒物	一 般 高ガ 圧ス	液 化 石ガ 油ス	施行令 第19条 の12、13
第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類								
								●			●		●
特 性	危 険 性			有 害 性				環 境 汚 染 性		性 状			
	禁水性	爆発性	可燃性	有害ガス発生			目・皮膚に 触れると危険	河川への 流入注意	固 体	液 体	気 体	水 溶 性	
				常温	可燃時 火災時	水に 接触							
				●			●	●		●			

事故発生時の応急処置

- ① 車両を安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害のないような場所に移動し、エンジンを停止ひ、車止めをする。)
- ② 事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。
- ③ ゴム手袋、ゴム長靴、防毒衣、ハロゲン用隔離式防毒マスク又は空気呼吸器等の保護具を着用し、漏れ止め、除害活動を行う。
- ④ 下記事項を荷主会社、運送会社、地域防災組織等の関係機関へも連絡する。

緊急通報

119 (消防署) ・ 110 (警察署) ・ 高速道路の非常電話

[緊急通報例]

1. いつ ○○時○○分頃
2. どこで ○○市○○地区 (国、県、市) 道○○号線○○付近で
3. なにが 『塩化水素 (高圧ガス・毒性・劇物)』 が
4. どうした 漏れています。/漏れて火災になっています。
5. ケガ人は ケガ人がいます。(救急車をお願いします) /けが人はいません。
6. 私の名前は ○○運送会社 ○○です。

緊急連絡

荷送会社	
住 所	
電 話	平日・昼間
	休日・夜間

運送会社	
住 所	
電 話	平日・昼間
	休日・夜間

製品名	塩化水素	国連番号	1050
化学名	塩化水素	SAMPLE	

災害拡大防止措置

<漏えいしたとき>

- ① ガス漏れ箇所の確認及びガス漏れ閉止の適切な処置を行う。(容器弁の増締め、漏えい防止キャップの取り付け等) 作業にあたっては空気呼吸器等の保護具を着用し、必ず漏えい箇所の風上で作業する。
- ② 漏えいが止まらない場合は、風通しの良い場所へ移動し、付近住民及び通行人を近づけないようにし、火気を禁止する。
- ③ 漏えい液は消石灰や大量の水で吸収させる。

<周辺火災のとき>

- ① 容器を安全な場所へ移動する。
- ② 移動することが不可能な場合は、容器及び破損防止のために容器及び周囲に散水する。

<救急処置>

- ① 目に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗い流す。
- ② 皮膚に触れた場合は、直ちに付着又は接触部を多量の水で十分に洗い流す。汚染された衣服やくつは速やかに脱がせる。
- ③ 吸入した場合は、直ちに患者を毛布にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所へ移す。呼吸が停止しているときは人工呼吸を行う。呼吸困難のときは酸素吸入を行う。
- ④ 患者が発生した場合は、できるだけ早く医師の手当を受ける。

特記事項

- ① 塩化水素自体は爆発性はないが、湿気があると金属を浸して水素を発生し、この水素が空気と混合して爆発を起こす事がある。
- ② 皮膚、眼、鼻、喉、上気道粘膜に強い刺激作用があり、接触すると火傷を負う。また、の静電気や工具使用時の火花等の着火源にも注意が必要である。
吸入すると肺水腫になる可能性がある。
- ③ 容器内充てん圧力 : 20℃で4.40MPa (44.9kg/cm²) [ゲージ圧力]
40℃で6.60MPa (67.3kg/cm²) [ゲージ圧力]
許容濃度 : 5ppm
相対密度(ガス比重) : 1.3 (空気を1とする。空気より重い。)
液密度 : 0.86kg/L(15℃)
沸点 : -85.0℃
色・臭い : 無色・窒息しそうな刺激臭
容器外面の塗り色 : ねずみ色